



技

技術継承AI know-howAI

サービス紹介資料

ベテランの「頭の中」を、 若手が「習得した証拠」に変える。

話す・撮る・答えるだけで暗黙知を記録し、診断と再テストで「継承できたか」までを測る。

製造・建設・設備保全の現場のための、技術継承AIです。

knowhow-ai.app

2026年10月版

CHALLENGE

技術継承が進まない、3つの理由

技術継承の取り組みは、文書化の途中で止まりがちです。多くの現場で、次の3点が重なっています。

1

暗黙知が、頭の中にしかない

「なぜその順番でやるのか」「どんな音・手応えで異常と判断するのか」は、手順書には書けません。書く時間も、書き方を知る人もいません。

例：段取りの順番、異常を見分ける音・手触り・においの基準

→ 退職と同時に、判断の根拠ごと消える

2

教える時間も、測る手段もない

OJTは目の前の業務に押されて後回しになります。教わる側も「どこまで身についたか」が分からず、教える側も確認できません。

例：OJT担当が忙しく、後継者の理解度を確認する機会がない

→ 育成が長引き、属人化が続く

3

資料があっても、引けない

マニュアルや過去のトラブル報告は、紙・PDF・ファイルサーバに散在しています。困った現場で、必要な一枚にたどり着けません。

例：過去のトラブル報告が、個人のフォルダやファイルサーバに埋もれている

→ 結局「あの人に聞く」に戻る

共通する根っこ：記録はしても、「継承できたか」を測っていない。技術継承AIは、そこまでをひとつの流れにしました。

「記録する」で終わらせず、「習得を測る」まで

ベテランの知識を記録し、現場で使える形にし、若手が身につけたかを測る。この4段階が、ひとつのサービスでつながります。

STEP 1

捕捉する

AIインタビュー（音声）、3問で手早く記録、写真で記録。忙しいベテランでも続けられる3つの入口。

STEP 2

貯める・つくる

既存のPDF・Word・Excel資料を取り込み、インタビューからマニュアルを自動生成。すべて検索対象になります。

STEP 3

現場で使う

出典付きのAIチャットで質問。QRコードを掲示すれば、アカウント登録なしでスマホからアクセスできます。

STEP 4

習得を測る

10問の診断で現在地を測り、弱点だけをミニ講義と再テストで補強。到達度が記録として残ります。

文書管理ツールとの違い

保管・検索までは多くのツールが担います。技術継承AIは、そのうえで「誰が何を習得したか」を記録します。

一般的なAIチャットとの違い

回答は社内の資料やインタビュー記録を根拠にし、出典を示します。自社の知識に基づいて答えます。

話す時間がなくても、記録できる3つの入口

1 AIと対話で記録(音声)

AIが音声で質問し、「なぜそうするのか」まで掘り下げます。**クイック** (約5分・1テーマ)と**じっくり**(5段階で深掘り)を選べます。

2 3問で手早く記録

3つの質問に文字で答えるだけ。マイクが使えない場所や、短い時間でも記録できます。

3 写真で記録

現場の写真(最大3枚)と短いメモから、AIが技術的な説明文の下書きを作成。内容を確認して記録を仕上げます。

役割別テンプレートで、何を聞か迷わない。

設備保全／機械加工・段取り／品質・検査／安全・KY／立上げ・トラブル対応／引き継ぎ・コツ

記録した内容は自動で要約・文書化され、検索・クイズ・マニュアル生成にそのまま使われます。

実際の画面：インタビュー

knowhow-ai.app

インタビュー
AIが音声で対話しながら、経験や技術を深掘りして技術ドキュメント化します

☐ AIと対話で記録 ☒ 3問で手早く記録 ☐ 写真で記録



今日はどんな話をしますか？

例: 新設備Aの立ち上げ手順

Enterキーで開始

何を聞か迷ったら、役割から選べます

約5分・1テーマ 5段階で深掘り

1つの作業・コツを手短に。忙しい方や初めての方におすすめ。

3つの入口はタブで切り替え。役割から選ぶだけでテーマが決まります。

必要な知識を、出典付きで引き出す

マニュアルとインタビュー記録を横断して検索。回答には根拠となる文書が示され、鵜呑みにせず確かめられます。

自然な言葉で質問

専門用語や品番を正確に覚えていなくても、「いつもと違う音がする」のような聞き方で探せます。

回答に出典を明示

どの文書の、どの部分から答えたのかを表示。根拠をたどって原本を確認できます。

カテゴリ単位で整理

設備保全・品質管理など、カテゴリごとに知識を管理。テナント（組織）ごとにデータは分離されます。

画面イメージ(サンプル): チャット

※架空の内容です

段取り替えのあと、最初の1個で必ず確認する点は？

最初の1個では、次の3点を確認します。

1. 基準面からの寸法（ゲージで実測）
2. 工具の突き出し量とクランプの締付け
3. 切りくず排出の状態と、びびりの有無

出典: 段取り替え手順書(p.4)

出典: インタビュー記録(機械加工)

質問を入力…

読んだだけで終わらせない。弱点だけを埋める「適応学習」

診断で現在地を測り、間違えたところだけを学び直して再テスト。習得できたかどうか、到達度として残ります。

1

10問の診断

カテゴリの知識から、現在地を測る診断を自動作成。

2

弱点を抽出

間違えた設問だけを取り出します。

3

出典付きミニ講義

社内文書を根拠に、弱点ごとの解説を生成。

4

弱点のみ再テスト

3～5問で確認。80点以上で「習得」と判定。

到達度ジャーニー

診断・再テストの結果から、カテゴリごとの状態を自動で分類します。

- **習得**: 再テストで基準を超えた
- **学習中**: 取り組み途中
- **要注力**: 弱点が残っている
- **未着手**: まだ受けていない

画面イメージ(サンプル): 到達度ジャーニー

※架空の内容です

設備保全
最新スコア 90点

習得

旋盤加工
再テスト待ち

学習中

品質管理
診断 40点

要注力

安全・KY
未受験

未着手

学習の履歴は組織内で保存され、スキルマップ(8ページ)にも反映されます。

手元の資料もインタビューも、そのまま使える知識に

ドキュメント取込

既存の資料をアップロード

PDF・Word(DOCX)・Excel(XLSX)・テキストをドラッグ&ドロップ。AIが読み取り、見出しの階層構造を保ったまま検索できる状態にします。

- 対応形式:PDF/DOCX/XLSX/TXT(1ファイル最大10MB)
- Excelはシートごとに整理し、表の列見出しと値を結びつけて取り込みます(旧形式の.xlsは.xlsxで保存し直してください)
- カテゴリを指定して整理(設備保全・品質管理 など)
- 取り込んだ内容は、チャット検索・診断の根拠になります

マニュアル自動生成

インタビューから手順書のたたき台を作成

記録した内容をもとに、現場で使う手順書をAIが下書きします。確認・編集して仕上げます。

汎用マニュアル

設備点検マニュアル

安全作業手順書

品質検査手順書

引き継ぎ手順書

生成された内容は必ず担当者が確認してください。AIの出力をそのまま正式な手順書として使うことは推奨しません。

既存の資料

+

インタビュー記録



カテゴリ別の知識



チャット検索

適応学習・クイズ

マニュアル生成

取り込んだ資料も、インタビューの記録も、同じカテゴリの知識として、検索・診断・マニュアル生成に使われます。

QRで現場へ。スキルマップとチーム招待で組織へ。

QRコードで現場アクセス

チャット・クイズ・インタビューを、QRコード付きの公開リンクとして発行。印刷して掲示すれば、スマホでスキャンするだけで使えます。



このQRから、アカウント登録なしの無料体験ページを開けます。

- 閲覧者のアカウント登録は不要
- 公開の一時停止・URL再発行が可能
- Standardプラン以上で利用可能

スキルマップ

メンバー × テーマの習熟度を、色で一覧できます。後継者が育っていない領域を早く見つけれられます。

画面イメージ(サンプル)		※架空の内容です		
メンバー	設備保全	旋盤加工	品質管理	
メンバーA	85	92	68	
メンバーB	72	55	-	
メンバーC	48	32	-	

凡例:80以上=熟練/60~79=中級
/40~59=要改善/40未満=初級/
未受験

チーム招待

管理者が招待リンクを発行し、メンバーがそのリンクから参加します。Standard以上はユーザー数に上限がありません。

- 宛先メールアドレスを指定して発行
- 有効期限7日・1回限りの使用
- 参加後は同じ組織のデータを共有
- 発行・取消・受諾は監査ログに記録

招待の流れ

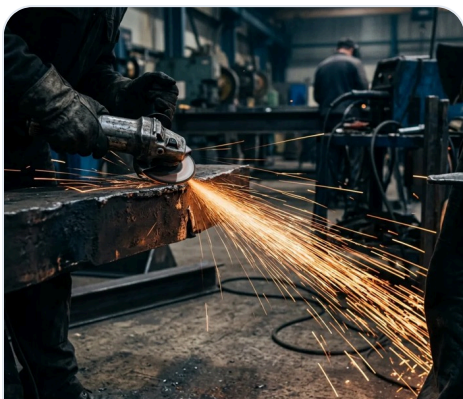
発行 ▶ リンクを共有 ▶ 参加

公開リンク・ユーザー数無制限はStandard以上、到達度の可視化レポートはPro以上で利用できます(プランの詳細は11ページ)。

USE CASES

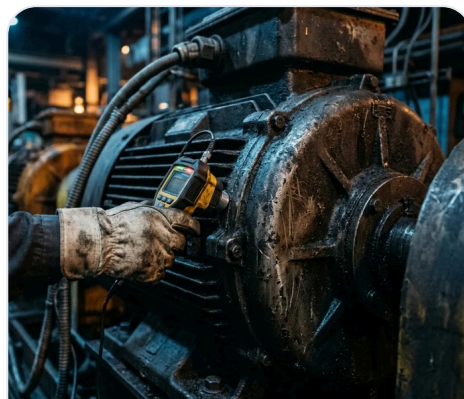
こんな場面で使えます

想定される使い方の例です。導入効果の実績を示すものではありません。



退職前の技術継承(製造)

退職の数か月前から、短いインタビューを重ねて加工のコツと判断基準を記録。後任は診断で習得度を確認します。



夜間・休日のトラブル対応(設備保全)

設備の異常時に、現場のQRからスマホで質問。過去の対応記録を根拠付きで確認できます。



検査基準のばらつき対策(品質管理)

「見れば分かる」判断を言語化し、写真付きで記録。新任者は診断で基準の理解度を確かめます。



現場監督の判断基準(建設)

安全管理や施工の判断基準を記録し、複数の現場で共有。新人はスマホで確認しながら学べます。

まずは1テーマ、1人のベテランから

最初から全社展開をめざす必要はありません。小さく始めて、効果確かめながら広がられます。

1 資料をアップロード

目安 5分

手元のPDF・Word・Excel資料を取り込み、まず検索できる状態にします。

2 ベテランにインタビュー

目安 15分～

役割別テンプレートで1テーマを記録。マニュアルのたたき台も生成されます。

3 現場で使い、習得を測る

即日

QRで現場に掲示し、後継者が診断を受けます。到達度が記録されます。

試す方法は2つ

- **無料体験**: アカウント登録なしで、AIチャット・インタビュー・クイズの流れを体験(knowhow-ai.app/trial)
- **Freeプラン**: 1名・ドキュメント5件・インタビュー5回・クイズ5回まで、期限なしで無料

導入前によくある確認事項

- 録音ができない現場 → 「3問」「写真」の入口で記録
- 既存資料が少ない → インタビューから先に作成
- 複数名で使いたい → Standard以上でユーザー数無制限

オンラインデモ 担当が画面を共有しながら、貴社の課題に沿ってご説明します。お問い合わせフォームの種別「デモのご依頼」からお申し込みください(knowhow-ai.app/contact)。

PRICING

料金プラン

ユーザー数による課金はありません。利用量の上限は累計で数え、月ごとのリセットはありません。

	Free ¥0	Standard ¥4,980 / 月(税込)	Pro ¥9,800 / 月(税込)	Enterprise 要相談
想定	1人でのお試し	小規模チーム・部門	本格運用	全社・複数拠点
ユーザー数	1名	無制限	無制限	無制限
ドキュメント	5件	30件	100件	無制限
インタビュー	5回	50回	200回	無制限
クイズ・適応学習	クイズ5回	無制限	無制限	無制限
QR公開リンク	—	○	○	○
到達度の可視化レポート	—	—	○	要相談
サポート	—	—	優先メール	個別にご相談

※ 価格・上限は2026年10月時点の内容です。Enterpriseの内容は個別にご相談ください。

データの扱いと、セキュリティの考え方

社内の技術情報を預けていただくため、実装している内容を事実のとおりにご説明します。

組織ごとのデータ分離

データは組織(テナント)単位で管理し、データベースのアクセス制御とサーバ側の組織スコープの両方で、他組織のデータが見えないようにしています。

認証

パスワード不要の、メールで届く6桁コードによるログイン。使い回しや漏えいのリスクを避けられます。

公開リンクの管理

QR付きの公開リンクは、管理者がいつでも一時停止・無効化・URL再発行できます。

AI処理について

文章の生成・音声の処理・検索のためのベクトル化に、OpenAI社のAPIを利用します。データは暗号化して送信され、外部サービス側での学習用途の利用は制限されています(詳細はプライバシーポリシーをご確認ください)。

監査ログ

文書の登録・削除、検索、インタビュー、公開リンクの操作、チーム招待などの主な操作を、組織・ユーザー単位で記録します。

決済

有料プランの決済はStripeで処理します。カード情報は当サービスでは保持しません。

運営体制: 個人の開発者が1人で開発・運営しています。第三者認証(ISO 27001等)・SLA・専用窓口は現時点でなく、大企業の情報セキュリティ基準(個別監査、SSOなど)への対応は難しい場合があります。条件がある場合は、お試し前にご相談ください。

プライバシーポリシー: knowhow-ai.app/privacy / AIの回答には誤りが含まれる可能性があります。重要な判断の前には、出典の原本をご確認ください。

よくあるご質問と、はじめ方

Q. NotebookLMや社内wikiと何が違いますか？

資料を読む・保管する用途ではどちらも優れています。技術継承AIは、ベテランの記録から、後継者の診断・弱点補強・再テスト・到達度の記録までを、ひとつの流れで扱う点が異なります。

Q. 無料で試せますか？

はい。アカウント登録なしの無料体験と、期限のないFreeプラン(1名)があります。

Q. Excelの資料は取り込めますか？

はい、.xlsx形式に対応しています。シートごとに整理し、点検表のような表は列見出しと値を結びつけて検索できます。旧形式(.xls)は、.xlsxで保存し直してください。

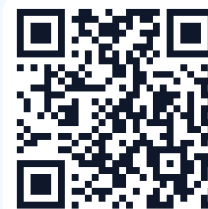
Q. 音声インタビューにはマイクが必要ですか？

音声の入口にはマイクが必要です。「3問で手早く記録」と「写真で記録」はマイクなしでご利用いただけます。

Q. 現場の端末は？

ブラウザで動作します。現場ではQRコードからスマートフォンでアクセスできます。

まずは無料でお試ください



無料体験(登録不要)

knowhow-ai.app/trial

無料アカウント登録 knowhow-ai.app/signup

デモ・ご相談・資料請求 knowhow-ai.app/contact

メール support@genbacompass.com

本資料の「画面イメージ(サンプル)」は、説明用の架空のデータです。機能・料金は2026年10月時点の内容で、予告なく変更される場合があります。